

## 目 次

- ◆ 北方領土の概要 . . . . . 1
- ◆ 四島交流受入 . . . . . 3
- ◆ 四島交流訪問 . . . . . 7
- ◆ 北方墓参 . . . . . 12
- ◆ 航空機を利用した特別墓参 . . . . . 14
- ◆ 自由訪問 . . . . . 15
- ◆ 北方四島における共同経済活動 . . . . . 19
- ◆ 北方領土視察等 . . . . . 20
- ◆ 地域創生推進事業 . . . . . 22
- ◆ 北方領土返還要求運動 . . . . . 25

## 北方領土の概要



北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん仲間達」

### はじめに

択捉(えとろふ)島、国後(くなしり)島、色丹(しこたん)島及び歯舞(はぼまい)群島は、私たち日本人が開拓し、父祖伝来の地として受け継いできたもので、歴史的にも、国際的な取り決めから見ても、いまだかつて一度も他国の領土となったことのない日本固有の領土です。

しかし、昭和20年の終戦直後にソ連軍の不法占拠により島民は島を追われ、それが現在まで続いています。日本固有の領土である北方領土の返還は日本国民の大きな願いです。

北方領土問題を解決し、一日も早い返還を実現するためには、まず日露両国民の一人ひとりが北方領土についての正しい理解と認識を深めることが大切です。

本冊子では、相互理解を深め、領土問題の解決を含む平和条約締結問題の解決に寄与することを目的とした四島交流を中心に、北方墓参、自由訪問、地域創生推進事業など、北方領土対策根室地域本部が関わった北方領土関連事業を分かりやすくまとめました。

本冊子を通し、北方領土問題を解決して平和条約を結び、日本とロシアとの間に真の相互理解に基づく安定的な関係を築くことの大切さを感じ取っていただけたら幸いです。

### 北方領土までの距離～わずか3.7kmのところにある島

北方領土について、遠い北の島々と思うかもしれませんが、最も近い歯舞群島の貝殻(かいがら)島までは、根室市の納沙布岬からわずか3.7kmしか離れておらず、肉眼で灯台を見ることができるほどです。国後島までは別海町の野付半島から16kmで、新潟市と佐渡島との距離の約半分です。色丹島まで73.3km、択捉島までは144.5km。北方領土とはこんなにも近くにある島々なのです。

【P1、2】 令和元年国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」等による

## 北方領土の自然

択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島の四島を合わせた面積は5,003.1 km<sup>2</sup>で、千葉県や福岡県とほぼ同じ大きさです。

気候的には黒潮と親潮の影響により、1年を通して寒暖の差が小さく、気候は根室地方と大差はありません。最も暑い8月の平均気温で16℃前後、最も寒い2月の平均気温は-6℃前後です。夏季を中心に霧が多く発生し、冬季の積雪はあまり多くはありません。

動植物では、シマフクロウ、エトピリカやクジラ、イルカ、ラッコ、アザラシ、さらにはヒグマ、クロテンなどのたくさんの野生動物が生息しています。

森林は、トドマツ、エゾマツ、カシワ、シラカバ、ナラなどで形成されています。

現在では、四島側で広範な「自然保護区」を設定していることと、人の活動する場所が限られていることもあって、比較的豊かな動植物が分布しています。

## 択捉島

日本で最も北側に位置する全長204kmの島で、北方四島の中で最大の島です。その面積は、3,167.8km<sup>2</sup>あり、鳥取県とほぼ同じ大きさです。火山島で温泉も多く、西単冠(にしひとかつぶ)山(1,629m)をはじめ、1,000mを超える山も少なくありません。

## 国後島

根室半島と知床半島との中間に位置している面積1,489.9 km<sup>2</sup>の細長い島で、沖縄本島よりも大きい島です。典型的な火山島であり、四島中最高峰の爺爺(ちゃちゃ)岳(1,772m)があります。材木岩、蠟燭岩等の奇岩があり、温泉も10数か所ありますが、利用のための施設はほとんどありません。

## 色丹島

根室半島のはるか東に位置している面積250.6 km<sup>2</sup>の島で、徳之島(鹿児島県奄美群島の1つ)とほぼ同じ大きさです。全体が緑で覆われ、とても美しい島として知られています。

## 歯舞群島

根室半島の東端、納沙布岬の沖合に点在する島で、水晶(すいしょう)島、秋勇留(あきゆり)島、勇留(ゆり)島、志発(しぼつ)島、多楽(たらく)島のほか、貝殻島や萌茂尻(もえもしり)島などの島々からなっています。これらの島々の面積は94.8 km<sup>2</sup>で、小笠原諸島(東京都)とほぼ同じです。



写真:色丹島穴澗湾の夕日(第2回北方四島交流事業 令和元年5月26日撮影)